

前期終業式



穏やかな、過ごしやすい日が続いています。

本日、令和7年度前期の教育課程を終了いたしました。保護者の皆様には、教育活動に多大なご協力とご支援をいただき、誠にありがとうございました。

1時間目に、終業式を行いました。はじめに校長先生の話がありました。「やればできる」という言葉についての話でした。この言葉は、成功をめざすことではなく、挑戦することに価値があります。挑戦すれば、たとえ失敗しても必ず成長に繋がります。だめなことは、何も挑戦しないこと。失敗を恐れずに、挑戦してほしいという内容でした。

その後、児童代表の発表がありました。前期の学校生活の中で挑戦したこと、そして後期に挑戦したいことについての話でした。それぞれにめあてをもって取り組み、しっかりと振り返りを行い、次の行動に繋げようとしていることに感心しました。



最後に、生徒指導担当の話でした。4月に、「思いやり～姿勢も心も美しい附属小学校」をめざすことを本年度の目標とするという話がありました。それについての振り返りです。あいさつと掃除は素敵な姿が見られました。これから考えてほしいことは、ものの返し方と登下校の仕方についてです。一輪車を雑に返す人がいても、気付いて直す人がいます。登下校の仕方については、繰り返し指導していますが、中には褒められる行動をする人もいます。ルールやマナーを守り、命を大切にすること、そして周りの人のことを考えた行動することについて話をしました。「ふしょうこ宣言」についても触れ、これまで大事にしてきた附属小学校の姿と心をこれからも磨いていきたいと思います、話は終わりました。

終業式で話を聞きながら、「何事にも挑戦する人になってほしい」「めあてをもって全力を尽くし、振り返りをしっかりと次につなげる人になってほしい」「自分も大切に、周りの人も大切にできる人になってほしい」と思いながら、話を真剣に聴く子供たちの顔を見ていました。「育てたように子は育つ」という相田みつおさんの言葉を思い出します。子供たちは大人のことをよく見ています。そのような子に育ててほしいければ、まずは自分がそのような行いをすることが一番と言われます。ちょっと何かに挑戦したい気持ちになりました。

さて、明日からは秋休みです。子供たちは元気に帰っていきました。短い休暇ですが、自分のやりたいことを楽しむ時間を過ごし、心も体も満たして、後期を迎えたいと思います。

(文責 齋藤 昌代)